

11月		相談
1 水		DV ㊦
2 木		㊦ (子)
3 金		
4 土		㊦
5 日		
6 月		子
7 火	休所	
8 水	「メディアからみる暴力と心」	女性 ㊦
9 木	「子どもと絵本の出会い」	㊦ (子)
10 金	「気持ちに寄り添って、そして、受け止めて」	井
11 土		㊦
12 日		
13 月		子
14 火	休所	
15 水		DV
16 木		法 ㊦ (子)
17 金	ビデオDEトーク「ユキエ」	保
18 土		㊦
19 日	おとうさんといっしょに楽しくあそぼう	
20 月		子
21 火	休所	
22 水	「ドメスティックバイオレンスを考える」	女性 ㊦
23 木		㊦ (子)
24 金	「たそがれコンサート」	
25 土	女性に対する暴力撤廃国際日 (国連)	㊦
26 日		
27 月		子
28 火	休所	
29 水	「ストップセクハラ」	㊦
30 木		労 ㊦ (子)

12月		相談
1 金		
2 土	「ジェンダーフリーの施設をめざして」	㊦
3 日		
4 月		子
5 火	休所	
6 水	「ドメスティックバイオレンス防止に向けての法的対策」	DV ㊦
7 木		㊦ (子)
8 金		井
9 土		㊦
10 日		
11 月		子
12 火	休所	
13 水	パソコンちらし講座	女性 ㊦
14 木		㊦ (子)
15 金	ビデオDEトーク「ピアノ・レッスン」	保
16 土	親子でたのしくあそぼう/子育てフォーラム	㊦
17 日		
18 月		子
19 火	休所	
20 水		DV ㊦
21 木		法 労 ㊦ (子)
22 金		
23 土		㊦
24 日		
25 月	「少年犯罪と心」「たそがれコンサート」	子
26 火	休所	
27 水		女性 ㊦
28 木	休所	
29 金	休所	
30 土	休所	
31 日	休所	

1月		相談
1 月	休所	
2 火	休所	
3 水	休所	
4 木	休所	
5 金		
6 土		㊦
7 日		
8 月		子
9 火	休所	
10 水		女性 ㊦
11 木		㊦ (子)
12 金		井
13 土		㊦
14 日		
15 月		子
16 火	休所	
17 水		DV ㊦
18 木		法 ㊦ (子)
19 金	ビデオDEトーク「エバー・アフター」	保
20 土		㊦
21 日	おとうさんといっしょに楽しくあそぼう	
22 月		子
23 火	休所	
24 水		女性 ㊦
25 木	「子育てとジェンダーフリー」	労 ㊦ (子)
26 金		㊦
27 土		
28 日		
29 月		子
30 火	休所	
31 水		DV ㊦

これからの講座

暴力と心について考える講座

カレンダーマーク▶

子ども虐待、DV、青少年犯罪などが大きな問題となっている今、これらの暴力に焦点を当てた講座を開催します。畑律江さん(毎日新聞社編集局副部長)、上田美江さん(スペースエスエー代表)、田上時子さん(ドーンセンター企画推進グループコーディネーター)、段林和江さん(弁護士)、香山リカさん(精神科医)、野口克海さん(大阪府教育センター所長)を講師にお迎えし、暴力と心の問題について考えます。

子育てフォーラム

カレンダーマーク▶

12/16(土) 午後2時~4時30分。「出ていけ! 子どもたち」(草思社)の著者で、吹田市にあるパン工房楽童の松永節さんを講師にお迎えし、ユニークで楽しい子育て談をお話いただきます。またそのうち、子ども情報研究センター研究員の井上寿美さんらを加え、パネルディスカッションで子育てについてみんなで考えます。また、4月から始まるファミリーサポートセンターの説明もします。

おとうさんといっしょに楽しくあそぼう

カレンダーマーク▶

木製おもちゃを使ってあそんだり、軽く体を動かしたりして、親子で楽しくあそびます。11/19(日)、1/21(日)、3/18(日)。10時~正午。地下1階ローズホール。

第10回ローズWAMまつり

2月4日(日) 午前10時~午後10時

1日中WAMで楽しみましょう!!

- 講演 露の都さん
- ゴスペル・ソングコンサート ニコーズ・ワークショップ
- パネルディスカッション「ローズWAM 女性相談とこれから」
- 楽しくあ・そ・ぼ!!
- ワークショップ
- パネル展示
- 市民サークル作ってみま専科・やってみま専科
- ビデオDEトーク
- 「ホームページを楽しもう」パソコン講座
- 屋台みせほか

ローズWAMのことを知ろう講座

カレンダーマーク▶

ローズWAMで活動中の保育、事業、情報、電話相談、舞台の市民スタッフの研修を公開講座にしました。各スタッフがそれぞれの特色を活かして企画しましたので、ローズWAMのことをもっと知りたい方、また全く知らなかった方も、気軽にご参加ください。

親子でたのしくあそぼう

カレンダーマーク▶

12/16(土)、2/17(土)。10時~正午。地下1階ローズホール。

ほっと・WAM・相談

日時 カレンダーマーク

女性のための電話相談	毎週水・土曜日 ☎21-0892 午前10時~午後4時	㊦
女性相談	〈一般〉 毎月第2水曜 午後1時~4時 毎月第4水曜 午後1時~4時 午後5時~8時	女性
DV相談(夫・恋人等からの暴力に関する相談)	毎月第1・3水曜 午後1時~4時	DV
電話子育て相談	毎週木曜日 ☎22-5757 午前10時~午後4時	㊦ (子)
子育て個別面接相談	〈予約制〉 毎週月曜日 午前10時~午後4時	子
子育てグループ面接相談 (3~6名のグループで申込・予約制)		
子育て相談井戸端会議	毎月第2金曜日 午前10時~正午 (個人申込、話し合いはグループで。定員10人)	井
法律相談	毎月第3木曜日 午前9時半~12時半	法
労働問題相談	毎月最終木曜 午後1時~4時	労
保健相談	毎月第3金曜 午前10時~正午	保

電話相談以外の予約は0726(20)9920へ

開所時間

午前9時~午後10時
(交流サロン・ネットワークギャラリーは午後7時まで)

休所日

(1) 火曜日
(2) 12月28日から翌年1月4日まで
ただし、設備保守点検のため、臨時に休所することがあります。



男女共同参画課

茨木市立男女共生センター ローズWAM
Ibaraki City Auxiliary Center Rose WAM
〒567-0882 大阪府茨木市元町4番7号 TEL 0726(20)9920 FAX 0726(20)9921
http://www.opas.gr.jp/city/ibaraki/wam/index.htm



扉のむこう

ありのままの
あなたとわたし
あたらしい風が
.....



わくわくスタート

4月に開所したローズWAMも当初は、利用者の皆様の対応にもときどきしながらでしたが、最近はやっと落ち着いて特色ある活動をすすめています。
このセンターは、男女共同参画社会実現に向けて女性の自立と社会参画、男性の家庭・地域への積極的な参加を支援するための事業を各種講座・講演・フォーラム等の中で展開していきます。
センター利用者も少しずつ増え、10月は約7千5百人近くになり、うれしい限りです。
市民スタッフ・アシスタント140名と市職員が協働して、女性も男性も気軽に利用していただき、エンパワメントできる市民密着施設としてこれからも活動していくつもりです。
是非一度といわず、何度もお越しください。

茨木市立男女共生センター
ローズWAM

回覧





【名前の由来】
ローズは茨木市花の「ハコ」を表し、WAMはWomen And Menの頭文字WAMをとったものです。

第3回 講師 尼川洋子
「男女共同参画社会基本法」
女性の自立の歴史や男女共生の
基本についてわかりやすく解説。

第2回 講師 深江誠子
「家族ってなんだろう」
家族の形を考え直すちょっと
過激な内容。環境の視点から
も…。

第1回 講師 日野玲子
「ジェンダーってなあに？」
男女の性差はつくられるという
話を、教育の現場から元気に楽
しく。

夏のローズWAM講座 女と男のはじめの一步

全5回

参加者の声より…
「とてもわかりやすかった」
「いろいろな講座をやってほしい」
「講座終了後の講師との意見交換がよかった」
「座談会、意欲的な意見も多く、今後の期待の大きいことがよくわかりました。」

今回は各回30人前後とまだまだ参加者は
少なかったのですが、参加した方にはとても
好評でした。今後はもっとたくさんの方に知
ってもらい、参加していただきたい！とい
うのがスタッフ一同の願いです。
次回は、冬の講座 2月8日(木)から。

楽しくあった！
生後六か月から就学前
の子もたちとおとうさ
んが、地下一階ロースホ
ールでおもちゃをいっ
い広げて遊ぶ「おとう
さんといっしょに楽し
まよう」は、奇数月に
一回日曜日に開いてい
ます。人気の木製おも
ちゃや、おやこ体操、
パネルシアターなど、保
育スタッフが楽しい遊
びを用意しており、お
とうさんといっしょに
楽しんでください。
(第四面に日時詳細記載)

『ローズWAM市民スタッフの企画による ローズWAMのことを知ろう講座』

市民スタッフの企画による
研修会を公開講座にしました。
保育、事業、情報、電話相談、
舞台のグループが、八月か
ら随時、それぞれの特色を
生かした研修を行っています。

舞台を知ろう

可能性を求めて
——可能性を求めて——
舞台スタッフは完全分担
制をとっており、各パート
で技術向上のため随時研修
会を行っています。
日ごろの活動の集大成と
して、研修会では発表を
かねて舞台の仕事の大きな流
れの確認をしています。

第一回 七月二十四日実施
仕込みからパフン(片付け)
まで

第二回 八月二十六日実施
舞台を使ってシヨートスト
リー作りで利用の際の
具体的方法を紹介

第三回 九月十七日開催予定
「舞台をいっしょにつくり
ませんか」

出演者募集中
実際に舞台を製作して、
舞台づくりの楽しさ、難し
さを感じてもらいます。
舞台スタッフに関心のある
人は参加してみてください。
(ローズWAM受付へ)

「おっー」と思われた方
ぜひ一度、ワムホールを
ご利用ください。スタッフ一
同全力をあげて応援します。

●4月以来、女性のためのパソコン講座、塩崎敬子絵画展、女性の生き方について考える映画の夕べ、女性2000年会議パネル展、豊かな生活講座、たそがれコンサートの他、スタッフが企画する研修などが開かれ、市民の皆様方に多数参加していただきました。

女性フォーラムローズWAMオープン記念 「二十一世紀を拓く女性たち」

基調講演
赤松 良子 (元文部大臣)
日時 四月二十一日(土)

赤松良子さんの講演は、「国連婦人の十年」の最終年に日本が批准した「女性差別撤廃条約」について責任ある立場で開かれた当事者としての迫力あるお話しでした。この条約を日本が批准したことによって男女雇用機会均等法の制定につながったことなど、若い参加者は初めて知ることでした。

講演に引き続き続いての三人による対談は、ムーブ所長の三隅さんから女性センターの役割について「社会的に見れば女性の地位はまだ低い。男女平等を実現する場としての拠点が必要。情報を収集し、わかり



赤松良子さんの講演の様子

やすく加工して発信するコミュニケーションの場として大切だ」と話されました。赤松さんは「高齢化問題は女性の問題であり、在宅介護でも介護する側の八割が女性で、無償で行っています。だが、大学生の男子など見ていると家事はあたり前のことというように意識が変わってきています」と話され、パネリストとして赤松さんは女性週刊の「スローガン」から「自分らしく生き方ができる社会。今、個性が性を「える」。」の二点を例に、条約の中で差別につながる慣習、慣行を改めなさい」といっているところを素直に、今それらが「男女共同参画社会基本法」にまでつながっています。男性も女性も生きやすい社会に、夢と希望をもつて」と結ばれました。

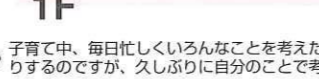
市民ボランティア講師 による夏の市民講座 「ちょっとはじめてみま専科」

語学に旅、歌、楽器、健康に関するもの、かな書道、茶道入門、作品を創るものなど、バラエティに富んだ十六講座を各五回コースで、誰にでも楽しめるものばかり。いずれも市民ボランティア講師の、個性的な作品や、親切で熱心な指導が好評でした。「受けて良かった」「このまま続けたい」という声があがり、ほとんどの講座で自主グループが結成され、終了後もローズWAMで活動がつづいています。また閉講式にはそれぞれの講座の成果を発表して自信を深め、互いの交流の輪も広がっています。

九月の「たそがれコンサート」は市民講座受講生によるハートフルの演奏が披露され、皆さんの喝采をあげました。

二月にも冬の市民講座がありますので、あなたも一緒にいかがですか。

二月八日(木)、九日(金)から三月八日(木)、九日(金)まで
毎週五回講座
午後・夜間
冬の講座スタート。
詳しくは広報お知らせ版一月号
でお知らせします。



1F

自分らしく生きるには…

赤松良子さんの講演は、「国連婦人の十年」の最終年に日本が批准した「女性差別撤廃条約」について責任ある立場で開かれた当事者としての迫力あるお話しでした。この条約を日本が批准したことによって男女雇用機会均等法の制定につながったことなど、若い参加者は初めて知ることでした。

講演に引き続き続いての三人による対談は、ムーブ所長の三隅さんから女性センターの役割について「社会的に見れば女性の地位はまだ低い。男女平等を実現する場としての拠点が必要。情報を収集し、わかり

あつと、いつの間 「パソコンでちびり作り」

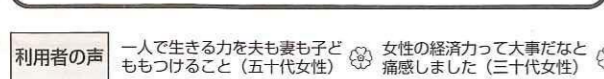
八月三日、真夏の屋下がり、「パソコンでちびり作り」の講座が開かれ、ちびりを作る作業を通じて、「一太郎」の操作を体験してもらいました。パソコンの人気は高く、多くの応募があったので、急ぎ、講座を二回にしましたが、それぞれで三人で一台のパソコンを使っていただくことになりました。

参加者の中には、四十、五十代の女性もどより、六十代女性七人、男性六人と熟年層の積極的な姿もみられました。講座では、ちらしの雛型に絵を入れたり、タイトル文

あつと、いつの間 「パソコンでちびり作り」

八月三日、真夏の屋下がり、「パソコンでちびり作り」の講座が開かれ、ちびりを作る作業を通じて、「一太郎」の操作を体験してもらいました。パソコンの人気は高く、多くの応募があったので、急ぎ、講座を二回にしましたが、それぞれで三人で一台のパソコンを使っていただくことになりました。

参加者の中には、四十、五十代の女性もどより、六十代女性七人、男性六人と熟年層の積極的な姿もみられました。講座では、ちらしの雛型に絵を入れたり、タイトル文



2F

利用者の声
一人でも生きる力を夫も妻も子どももつること (五十代女性)
女性の経済力って大事ななと痛感しました (三十代女性)
子育て中、毎日忙しい人なことを考えたり、自分の時間をもつのが難しくなりするのですが、久しぶりに自分のこと考えたりできた。笑えた! (三十代女性)
自分なりの人生を生きようと思った。 (六十代女性)
耳新しいテーマ、年を忘れて聞かせていただき。思いはいろいろ広がります。 (七十代女性)
日頃かなり個人的に平等の関係を求めている私ですが、かえってそれゆえに社会に対する働きかけは弱いかも… (五十代女性)
一方的に講義を聞いてうなずいて帰るだけではダメ? (六十代男性)

スタッフの声
仕事終え、ばーんと一いっつくすれば人の輪、知恵の輪が広がった。
未と短等に物がある。
嬉しーん、楽しーいかな。
オープンから、自分たち、美意識で、「小さい形は好きありません。大」と言われた。「タカラ」の舞台を鑑見た。翌月、美意識で、「小さくなく、大きく」を言われた。嬉しーん、楽しーいかな。
「One Book 青春!!」
お子さんの成長を身近に感じ、せいていただきとても幸せです。楽しみに来させていただきます。